

# ユニバーサルデザインを構想してみよう

美術資料集 ( 秀学社 )

## 1. 中学校 ( 1 ) 年 教科等 ( 英語・美術 )

### 2. 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

( 教科等で付けたい力 )

- ・使う人や場所のことを考えた美しいデザインに関心を持つ
- ・心地よい美しさと生活を楽しめるデザインの構想を練る。

( 学校図書館等の活用で付けたい力 )

- ・自分が考えた「使う人の気持ちを考えたユニバーサルデザイン」を人に伝えるために積極的に調べようとする。

### 2. この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- ・情報収集・・・目的に応じて資料で必要な情報を集める。
- ・整理・分析・・・課題を解決するために調べたことをプリントに書き、自分の考えを整理する。
- ・まとめ・表現・発信・・・課題に対する解決策など、整理した情報や根拠をもとに他者に伝え、学習した成果を英語科で世界に向けて披露する場を設定する。

### 3. 学習の展開 ( 全 2 時間 ) ( 学校図書館等を活用する時間は ☆ )

第 1 次 ( 英語 ) 課題の設定	めあてを「ユニバーサルデザイン商品を作り出し世界発信」として人を助けるためのユニバーサルデザインの商品として、それを広く世界へ紹介するためのパワーポイントを作成することを言語活動に設定。
第 2 次 情報の収集	・美術では、最終の英語のめあてデザインの観点から、ユニバーサルデザインの機能にアプローチする。 ・生活に活かされている様々なデザインについて学習。 ・実際にユニバーサル商品に触れる。 ・関連の資料を選び、タブレット等で世の中にあるユニバーサルデザインの商品を参考にしながら自分の考えをまとめていく。
第 3 次 ☆ 整理分析	・心地よい美しさと生活を楽しめるデザインでユニバーサル商品のイメージをワークシートに表現していく。 ・友だちに、ユニバーサルデザインとしてよりよい商品にできるようにアドバイスをしあう時間を作る。

## (本時 2 / 2 時)

### ☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい

- ・自分が考えた「使う人の気持ちを考えたユニバーサルデザイン」を人に伝えるために積極的に調べようとする。

### 学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	<b>○必要な資料をイメージしよう。</b> ・自分が調べた世界中にある課題や困り感を解決できる商品はどのようなデザインかを考える。 ・課題や困り感はどこにあるのかをより詳しく知ることができる必要な資料を考える。	・ペアやグループでアドバイスし合う時間を作るようにする。
35	<b>○資料を準備する</b> ・1冊から3冊を比較しながら読み比べる。 ・必要に応じてタブレットや雑誌、新聞からも情報をみつけられるようにする。	本・からユニバーサルデザインに関する基本情報を収集する。 <b>図書館活用ポイント</b> ・何を調べていいかわからない生徒には、ペアやグループで一つの作品でもいいことを伝える。
10	<b>○アイディアスケッチを描いてみよう。</b> ・仲間に伝わるように表現する。	・資料が重なる生徒がいれば、タブレットを活用し、資料の映像をシェアする。
5	<b>○まとめ&amp;ふりかえり</b> ・ふりかえりの中で、新しい気づきや、これから調べてみたいことを記入。	

